

# 株式情報

(2009年6月30日現在)

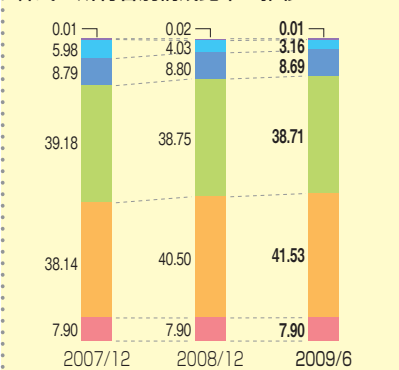
## 株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,931,900株
株主数	8,292名

## 株式の所有者別状況

	2007/12 (2007年12月31日現在)		2008/12 (2008年12月31日現在)		2009/6 (2009年6月30日現在)	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	6	3,946	6	6,900	8	4,000
外国人	8	1,910,900	3	1,289,200	5	1,007,700
金融機関	15	2,806,762	16	2,808,362	16	2,776,162
その他国内法人	63	12,510,526	69	12,371,466	68	12,361,466
個人・その他	6,992	12,178,184	7,512	12,933,798	8,194	13,260,232
自己名義株式	1	2,521,582	1	2,522,174	1	2,522,340
合計	7,085	31,931,900	7,607	31,931,900	8,292	31,931,900

株式の所有者別構成比率の推移 (単位: %)



## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月
基準日	定時株主総会の議決権 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 (中間配当を実施する場合)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (証券代行事務センター) TEL.0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	<a href="http://www.joyfull.co.jp/">http://www.joyfull.co.jp/</a>
上場取引所	福岡証券取引所

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 上場株式配当等の支払いに関する通知書について  
租税特別措置法の2008年改正(2008年4月30日法律第23号)により、2009年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。  
配当金額収証にてお受取りの株主様は、年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。
- 株主様のご住所・お名前に関する文字についてのご案内  
株券電子化実施にともない、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

# 株式会社ジョイフル

第35期 中間報告書 2009年1月1日～2009年6月30日 証券コード：9942



## Business Report

2009 Interim

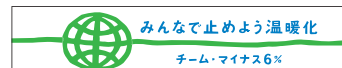
もっとうれしいジョイフルへ。

# Joyfull

Restaurant

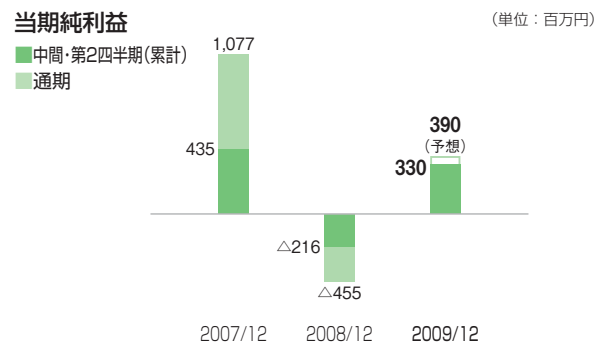
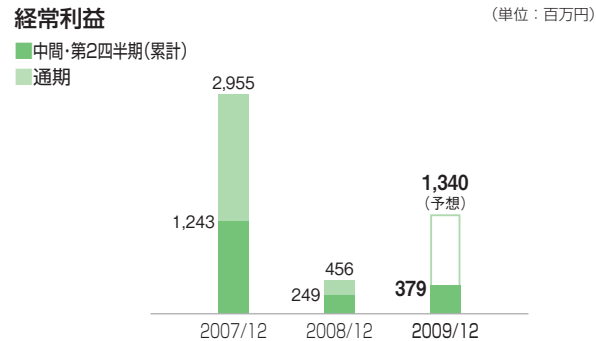
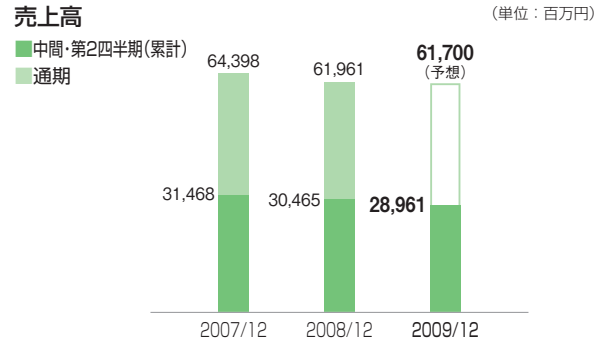
## 株式会社ジョイフル

〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号  
TEL.097-551-7131(代)



環境保全のためFSC認証紙と大豆油インキを使用して印刷しています。

## 連結業績ハイライト



(注) 当期より四半期決算開示制度にともなう会計基準の変更により、第2四半期連結累計期間の業績について掲載しております。前中間期以前の数値は参考数値として掲載しております。

## 株主の皆様へ



厳しい事業環境を乗り越えるべく、創業精神に立ち返り、  
本来の強みを活かした商品開発、営業を展開。  
成長基盤の確立を実現してまいります。

引き続き低価格帯の商品ラインナップを維持し、さらなる看板メニューを創出することで経営効率改善による業績の向上を目指してまいります。

私たちジョイフルは創業精神に立ち返り、皆様により良いものを1円でも安くご提供するという方針のもと、お値打ち感を主とした卓越した価値づくりをはじめとして、お客様の視点に立った商品・サービスの提供を実践してまいりました。当第2四半期連結累計期間でのメニュー改定では、先に述べたように低価格帯の商品を中心に、リプステーキやスタミナ丼、ドリア類などに大変ご好評をいただきました。

しかしながら、ジョイフルはお客様にとっては、「ハンバーグを食べに行くお店」であるべきで、「ハンバーグ=看板となるメニュー」の創出が今後の課題の一つであり、メニューのさらなる磨き込みが必要となります。こうした看板メニューを明確に持つことは、原価の低減や、オペレーションの集中による効率化など、結果として価格やサービスとしてお客様へ還元することができるというコストメリットを創出できるからです。

持続的な成長に向けて、店舗当たりの売上高のアップと損益分岐点の低下を図ります。

現在、外食産業は、マーケットが成熟する中でコンビニエンスストアや惣菜店との激しい競争下に置かれています。その中で、当社が今後成長していくためには、収益力の改善が急務と考えており、今後も継続して、1店舗当たりの平均売上高の向上や、収益性の改善に向けた損益分岐点の低下などを目標に取り組んでまいります。

また、中期経営計画として「ジョイフル既存店の強化」「商品力の強化」「社内体制の整備」を掲げておりますが、今後もこの方向性を維持し、業績向上に注力してまいります。

私たちジョイフルは、創業以来、低価格による新しい価値によって「新しい価値観の創造、新しい豊かさの提供」を目指しており、「品質の良いものを低価格で提供することによって、国民の食生活を豊かにする、豊かにしなければならない」という強い自負と使命感を強く持っています。この創業精神に立ち返り、これからもジョイフルの持つ本来の強みを活かした商品開発、営業を行ってまいります。

こうした中、株主の皆様への還元方針として、継続した安定配当を基本方針とさせていただいておりますが、これからもご期待に沿うことができますよう、業績向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

2009年9月

取締役社長 長尾一徳

当社では、さらなる成長を目指し、2009年上期においてもこれからの見据えて様々な取り組みを行ってまいりました。このページでは当社の上期の施策の振り返りと下期の方針についてご紹介します。

## 第35期(2009年)上期の施策振り返り

### 重点施策

#### 営業面

- ▶ QSCの向上
- ▶ 店舗リフレッシュ工事
- ▶ 従業員教育の強化

#### 商品面

- ▶ お客様目線での商品開発
- ▶ 料理提供率向上のための商品設計の見直し

#### 管理面

- ▶ コスト削減
- ▶ 本部機能の集中化と店舗人員の補強
- ▶ CSR活動の実施

### ● 店長教育によるQSCの改善と、既存店の収益力強化

営業施策では、店舗への指導・教育の強化により、QSC(良い品質・良いサービス・清潔な環境)のさらなる改善を図るとともに、既存店舗のリフレッシュに取り組んでまいりました。

### ● ランチ・モーニングメニューの改定

5月12日、ランチ・モーニングメニューの改定を実施。日替りランチは、従来の「399円」の価格はそのままに、高品質のハンバーグを中心とした大幅なボリュームアップで、ランチタイムのお値打ち感をこれまで以上にアップいたしました。

### ● スタミナフェア

6月9日、スタミナフェアを開始。リブステーキは業界最安値の『599円』にて販売。大きな反響を得ることができました。



### ● グランドメニュー改定

6月23日のグランドメニューの改定では、299円の「ミニハンバーグ」や「100円おつまみ」を中心に、プライスポイントとなる499円以下のメニューを充実。低価格で、お値打ちのあるメニューを実現いたしました。



◀ 充実の100円おつまみも登場!

### ● 「えがお咲かそう!キャンペーン」の実施

「地元九州への貢献」を合言葉に、コスモス薬品様と共同で、対象商品の売上金の一部を地域緑化運動へ役立てる「えがお咲かそう!キャンペーン」を2008年12月1日～2009年1月31日の2ヶ月間にわたり実施いたしました。9月には『えがお咲かそう!キャンペーン』第2弾を実施する予定です。



## 第35期(2009年)下期方針について

#### 営業面

- ▶ SV教育を通じた、さらなる店長教育  
店長間の力量差による店舗間格差(店舗状態・業績)縮小のため、SV教育を通じてさらなる店長教育を行います。
- ▶ 生産性の向上  
低価格路線を維持するにあたり、生産性の向上は不可欠なものです。  
従業員1人・1分あたりの生産性の向上を目指し、売り手・作り手が一体となった施策を実施いたします。
- ▶ 店舗リフレッシュ工事の継続実施  
下期中も引き続き既存店リフレッシュ工事を実施予定です。



### 2009年下半年IRカレンダー

今後のIRスケジュールでは、以下の活動を予定しています。ご参照の上、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。

- 2009年11月中旬 第35期 第3四半期決算発表(決算短信開示)
- 2010年2月中旬 第35期 決算発表(決算短信開示)
- 2010年2月下旬 第35期 決算説明会開催
- 2010年3月下旬 第35回 定時株主総会開催

#### 商品面

- ▶ 1グラム単位でのコスト見直し  
収益力向上のために、購買力をさらに強化させます。商品コストを1グラム単位で捉え、世界中からより良いものを1円でも安く購入できる流通システムの改善を図ります。
- ▶ 自社工場製品の拡充  
肉類・スープ類・ソース類の内製化を進め、原価に占める自社工場製品比率のさらなる向上を目指します。
- ▶ 秋フェア・冬フェアの実施  
9月15日(火)より秋フェア、10月27日(火)より冬フェアを開催する予定です。

#### 管理面

- ▶ CSR活動の推進
- ▶ 直間比率のさらなる削減に向けた組織改革  
本部機能をさらに集約させ、生産性の高い組織作りを行います。

当社IR情報の詳細については下記サイトをご覧ください。決算短信、有価証券報告書、事業報告書などの開示書類や決算説明会資料の他、売上高状況の月次データ(速報値)もご覧いただけます。

ジョイフル IR

検索

<http://www.joyfull.co.jp/ir/>

ジョイフルでは、長期的成長の実現に向けて、  
**食・店舗・運営**という3つのポイントから、

お客様にご満足いただける  
ブランドを構築するために、  
様々な施策を行っています。

店舗

Joyfull

食

運営

POINT-1  
食

お客様に満足と喜びを提供する  
お値打ち感満載のレストラン

食を通じた地域社会への貢献

1979年の第1号店出店から全国に約700店舗を展開するまでの30年、ジョイフルは、「より良い商品を、より低価格でお客様に提供する」ことを理念としてきました。

チェーンレストランとして過不足のないサービスと料理を、毎日でもご利用いただけるお値打ち価格で提供し、地域の皆様の「第2の食卓」となる。すなわち「食を通じて地域社会に奉仕する」ことこそ、ジョイフルの存在意義に他なりません。

私たちジョイフルは、原油・穀物などの市場価格の高騰が続く中、食の安全性を担保しながら「日本で最も廉価でご提供するテーブルレストラン」であることを目指しております。

今後とも、お客様にとって、家庭、職場に続く第三の「安らげる空間」として、普段の食卓代わりにお使いいただき、ご満足いただける店舗の状態を構築維持できるよう全社一丸となって努力を続けてまいります。

創業当初の構想は、「他社より3割安く」

現在でも、ジョイフルが展開している基本商品のプライスポイントは499円です。プライスポイントとは、店舗で提供する商品の中心となる価格設定。つまり「ジョイフルでは、いくらで食事できる」とお客様の印象に残るような価格です。2003年より開始した399円ランチをはじめ、お客様には「ワンコインから食事できる」という印象をお持ちいただくことができいております。



POINT-2  
店舗

長期的な成長に向けた  
ブランド力の向上



自社の商品を磨き上げ、  
市場に受け入れられる新価格を模索

私たちジョイフルは、自社の商品に対して自信と誇りを持っています。「どうせ安いだから…」ではなく、「こんなに良いものが、なぜこんなに安いのか?」と驚きをもって受け止められるような商品を提供してまいります。

ジョイフルの考える「低価格」とは、新しい価値の創造と新しい豊かさの提供です。より高品質のものを、より低価格で提供させていただくことで、お客様の食生活が豊かになるということが使命であると考えております。

コンセプトは「日常的に食べていただくものを、日常的な価格で提供する」。品質の高い商品を、より低価格で提供することで、「地域になくはない店」となり、その結果として、生涯利用者を増やし来店頻度を上げて、売上を向上させることができるのです。



キッズ戦略

ジョイフルでは、お子様にジョイフルでの良きご利用体験を重ねていただくことによって、長きに亘り、ご利用いただくことを目指した「Next Generation戦略」に注力しております。2009年も、「仮面ライダーディケイド」・「フレッシュプリキュア!」といった、お子様にたいへん人気のあるキャラクターとタイアップした販売促進を実施。全国的に好評いただきました。現時点でも行っていますが、今後もお子様向け商品の充実を重要課題として認識し、取り組んでまいります。



# POINT-3 運営

## “魅力”アップを目指した 店舗運営のさらなる推進



### 地域生活の「一番近くにある店」

私たちジョイフルは、お客様のご家庭の延長上にある「第2の食卓」でありたいと願っています。そのためには、「近くにあること」が大切な条件。だからこそ、他の大手外食チェーンが出店しないような小商圏のエリアにも積極的な出店を行っています。

従来のファミリーレストランは、人口約8万人の街に1店舗が採算ラインといわれてきました。しかしジョイフルは約3万人に対して1店舗という小商圏戦略を展開しており、市街地や幹線道路沿いよりも、その地域のお客様に、日常的に利用いただける生活道路沿いへ出店しております。

地域の中で、人々の日常に溶け込む「暮らしの中に出店する」という考えで推進しております。



### すべてのお客様に快適に過ごしていただくために

ジョイフルには、お子様連れのファミリー、学生、会社員、熟年のご夫婦や主婦のグループまで、あらゆる年代、属性のお客様が来店されます。こうした幅広いお客様のあらゆるニーズに応える店づくりとメニュー構成もジョイフルの魅力の一つです。

ジョイフルがお客様に提供すべき最大の価値と考えるのは、「低価格で高品質な商品の提供」と、もう一つは「ストレスフリー」という言葉に集約される価値です。お客様をお迎えして、お食事していただき、そしてお帰りになられるまでのプロセスにおいて、快適に楽しく過ごしていただけるよう、FDCとQSCというコンセプトの実現を目指しています。



**F: Friendly**  
お客様への親しみあふれるおもてなし。

**D: Discount**  
お客様に喜んでいただける圧倒的な安さ。

**C: Convenience**  
お客様の食べたいときに、いつでも空いている24時間営業。

**Q: Quality**  
良い品質。見た目にも綺麗で、鮮度の良いおいしい料理が早く提供できること。

**S: Service**  
良いサービス。明るい表情で、ハキハキ・キビキビ・ニコニコといった気持ちよい接客が徹底されていること。

**C: Cleanliness**  
清潔な環境。店舗内外が常にスカッとして、清潔で綺麗な環境が保たれていること。

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表(要旨)

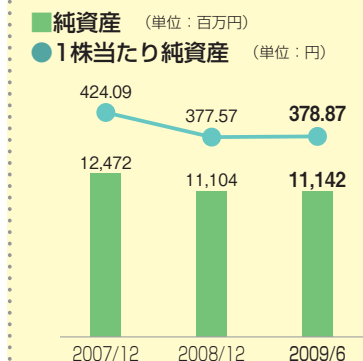
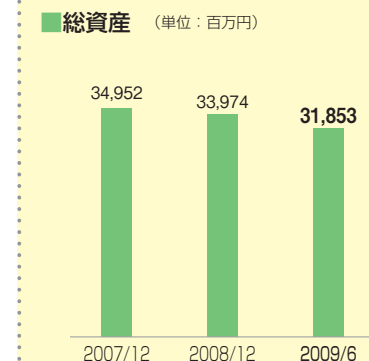
科目	当第2四半期末 (2009年6月30日現在)	前期末 (2008年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	6,848	8,241
固定資産	25,005	25,733
有形固定資産	19,412	19,966
無形固定資産	106	96
投資その他の資産	5,486	5,671
資産合計	31,853	33,974
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,738	10,440
固定負債	10,972	12,430
負債合計	20,710	22,870
<b>純資産の部</b>		
株主資本	11,164	11,127
資本金	1,596	1,596
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	10,947	10,911
自己株式	△3,770	△3,770
評価・換算差額等	△21	△23
その他有価証券評価差額金	3	5
為替換算調整勘定	△25	△29
純資産合計	11,142	11,104
負債・純資産合計	31,853	33,974

(注)金額は百万円未満を切捨表示しております。

**Point 資産の部**  
当第2四半期連結会計期間末の総資産は318億5千3百万円となり、前期末比21億2千1百万円の減少となりました。流動資産は68億4千8百万円となり、前期末比13億9千3百万円の減少となりました。これは主に現預金の減少11億5千6百万円によるものです。固定資産は250億5百万円となり、前期末比7億2千8百万円の減少となりました。これは主に減価償却費及び減損損失等による有形固定資産の減少5億5千4百万円によるものです。

**Point 負債の部**  
当第2四半期連結会計期間末の負債合計は207億1千万円となり、前期末比21億6千万円の減少となりました。流動負債は97億3千8百万円と前期末比7億2百万円の減少となりました。これは主に買掛金の減少9億9千4百万円によるものです。固定負債は109億7千2百万円となり、前期末比14億5千7百万円の減少となりました。これは主に長期借入金及び社債の減少12億5千2百万円によるものです。

**Point 純資産の部**  
純資産は111億4千2百万円となり、前期末比3千8百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加3千6百万円によるものです。



## 連結財務諸表

### 連結損益計算書(要旨)

科目	(単位：百万円)	
	当第2四半期(累計) (2009年1月1日から 2009年6月30日まで)	前中間期(ご参考) (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)
売上高	28,961	30,465
売上原価	10,437	10,784
売上総利益	18,524	19,680
販売費及び一般管理費	18,094	19,418
営業利益	429	261
営業外収益	71	115
営業外費用	121	128
経常利益	379	249
特別利益	30	7
特別損失	230	328
税金等調整前四半期(中間)純利益(△純損失)	178	△72
法人税、住民税及び事業税	74	108
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△343	—
法人税等調整額	117	36
四半期(中間)純利益(△純損失)	330	△216

(注)金額は百万円未満を切捨表示しております。

#### Point 売上高

5月、6月に既存店前年同期比で客数が100%を超えるなど回復の兆しが見えてきたものの、客単価が前年同期を下回って推移したため当第2四半期連結累計期間における売上高は289億6千1百万円(前年同期比4.9%減)となりました。  
営業利益は4億2千9百万円(同63.9%増)、経常利益は3億7千9百万円(同52.2%増)、四半期純利益は3億3千万円となりました。

#### Point 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、労務管理の徹底、業務効率化による残業時間の減少と、配置転換による人件費削減や、テレビCM等広告宣伝費の抑制により前年同期比6.8%減の180億9千4百万円となりました。

#### Point 特別損失

特別損失のうち、4月20日に発表させていただきました上海ジョイフルの営業休止にともなう減損損失は、1億3千万円となりました。

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	(単位：百万円)	
	当第2四半期(累計) (2009年1月1日から 2009年6月30日まで)	前中間期(ご参考) (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,120	552
投資活動によるキャッシュ・フロー	420	△420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,933	438
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	4
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△387	575
現金及び現金同等物の期首残高	3,304	3,121
現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高	2,917	3,696

(注)金額は百万円未満を切捨表示しております。

#### Point 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、11億2千万円となりました。収入の主な内訳は、減価償却費6億8千5百万円、未払費用の増加額5億2千8百万円、たな卸資産の減少額4億3千3百万円、法人税等の還付額2億5千8百万円、税金等調整前四半期純利益1億7千8百万円、減損損失1億3千万円、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額9億9千4百万円、前払費用の増加額1億7千7百万円であります。

#### Point 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、4億2千万円となりました。主な内訳は、定期預金の払戻による収入20億5千万円、有価証券の償還による収入3億円、定期預金の預入による支出15億円、有価証券の取得による支出2億円、有形及び無形固定資産の取得による支出2億7千7百万円であります。

#### Point 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、19億3千3百万円となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出15億2千4百万円、配当金の支払額2億9千3百万円、社債の償還による支出1億1千5百万円であります。

(注)当期より四半期決算開示制度にともなう会計基準の変更により、第2四半期連結累計期間の業績について掲載しております。前中間期の数値は参考数値として掲載しております。

## 会社情報

(2009年6月30日現在)

### 会社概要

社名	株式会社ジョイフル	従業員数	1,363名 上記従業員の他にパートタイマー6,867名(8時間換算)を雇用しております。
本社所在地	大分市三川新町一丁目1番45号 大分工場 大分市三川新町一丁目1番45号 大分配送センター 大分市下郡中新地3410-1 熊本工場・配送センター 熊本県菊池市袈裟尾字下大迫445-4 愛知工場・配送センター 愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1-17	資本金	15億9,659万円
創業	1965年6月	主な事業内容	「ファミリーレストラン ジョイフル」のチェーン展開
創立	1976年5月	連結子会社	上海巧芸府餐飲有限公司 株式会社ジョイフルサービス
		役員	代表取締役会長 児玉幸子 取締役社長 長尾一徳 取締役管理本部長 初田誠二 取締役営業本部長 國吉康信 取締役商品本部長 柴本 太

### 店舗一覧

#### 店舗ネットワーク 707店 (うちFC店舗44店 全て九州・沖縄エリア)

